

2019年日本オーストリア友好150周年記念
UTAU DAIKU in 福島

～『福島民報』5月22日（水）より～

8版

2019年（令和元年）5月22日（水曜日）

福島民報



復興祈る天使の歌声

▲ 復興支援に向け、ウィーン少年合唱団と南相馬市の中高生が共演した「UTAU DAIKU in福島」

ウィーン少年合唱団 県民と「第九」高らかに

東日本大震災の復興支援コンサート「日本オーストリア友好150周年記念 UTAU DAIKU in福島」は二十一日、郡山市のけんしん郡山文化センターで開かれた。ウィーン少年合唱団と南相馬市の少女合唱団「MJCAサンブル」の団員ら出演者が、ベートーベンの「第九」の合唱を通して、県内開催が実現

し、福島県の元気を発信した。

（3面に関連記事）
 世界音楽合唱チャリティ協会主催、夢グループの特別協賛、福島民報社などの協

力。二〇一四（平成二

十）年からオースト

リアのウィーンで被災

地支援を目的にチャ

リティーコンサートを開

いてきた。今回、初

めて県内開催が実現

東北
 6.1 sat
 2 sun
 10日
 あと

UTAU DAIKU in 福島

異国との絆再確認

小林幸子さん、募金呼び掛け

郡山市のけんしん郡山文化センターで二十一日に開かれた「日本オーストリア友好150周年記念 UTAU DAIKU in 福島」では、オーストリアのウィーン少年合唱団と南相馬市のMJCアンサンブルが共演し、絆の歌声を響かせた。東日本大震災の被災地を支援するための募金活動も行われ、大勢の人から温かい善意が寄せられた。

世界音楽合唱チャリティー協会の主催。夢グループの特別協賛、福島民報社などの協力。「天使の歌声」で知られるウィーン少年合唱団、MJCアンサンブルに加え、郡山市民有志も参加し、ベートーベンの「交響



「第九」の合唱を通して絆を深めるウィーン少年合唱団(前列)とMJCアンサンブル(後列)の子どもたち



来場者に被災地支援の募金呼び掛ける林会長(左)と小林さん

曲第九番合唱付」を熱唱した。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の演奏や国内外で活躍する音楽家の美声が加わると、来場者約千六百人から大きな拍手が送られた。

公演に先立ち、報道陣の取材に応じた林明男同協会会長は「世界に福島を安全に伝えたい」との思いがあった」と強調。「子どもたちが音楽をきっかけに国際交流の仲間に入ってくればうれしい」と語った。夢グループの石田重広社長(郡山市出身)もウィーン少年合唱団を本県に招いた今回の公演の意義などを説明した。

林会長と妻で歌手の小林幸子さんが復興支援の募金を来場者に呼び掛けたところ、四十七万一千五百円が寄せられた。このうち半額が後日、福島民報社に託される。